

# とやま市公民館だより

富山市教育委員会 富山市公民館連絡協議会 令和8年3月20日発行

## 富山市公民館研修会(後期)

令和7年10月23日(木) 八尾コミュニティセンター

### 《特別講演》 野生動物との共生を目指して



富山県  
生活環境文化部自然保護課  
副主幹・野生生物係長  
石黒 裕崇 氏



### 《事例発表》



城川原公民館



市立大沢野公民館

# 〈特別講演〉野生動物との共生を目指して

富山県生活環境文化部自然保護課  
副主幹・野生生物係長 石黒 裕崇 氏

## 〈県内の野生鳥獣の現状〉

富山県内で農作物被害を引き起こす主要動物は、イノシシ・クマ・ニホンザル・シカ等ですが、特にイノシシによる被害が最も深刻です。全体被害額は約4,500万円、その約80%をイノシシが占めています。



農作物被害を引き起こす動物

## 〈イノシシの生態と対策〉

イノシシの推定生息数は約1万頭、行動範囲は半径1~2kmほどです。性格は非常に警戒心が強く、高い学習能力を持ち、雑食性でなんでも食べます。まずは、その特性から農作物の味を覚えさせないことが大切です。効果的な対策は餌場と隠れ場をなくす環境管理、電気柵と恒久柵(ワイヤーメッシュ)の併用、徹底した点検と維持管理です。特に電気柵は、イノシシの見慣れないものは鼻先で確認する習性を生かし、鼻先に感電させるよう設置します。草の繁茂や電力低下による機能不全を防ぐメンテナンスが成否を分けます。イノシシによる農作物被害を食い止めるには、まずは寄せ付けないこと、有効な対策を地域ぐるみで取り組むことが被害軽減の鍵となります。

## 〈ツキノワグマ出没増加の背景〉

県内のツキノワグマの推定生息数は約1,500頭ほどです。100mを7秒で走り、木登り、泳ぎも得意で、人が想定する以上の行動力を持ちます。また、嗅覚にす



富山県内で撮影されたツキノワグマぐれ、遠くのもの匂いを嗅いでやってきます。

今年は高い標高にあるブナが凶作、里に近いところに生息するミズナラ、コナラが不作であるため、山中で餌を確保できず、食べ物を求めてどんどん

下りてくるという状況です。県は9月にツキノワグマ警戒情報を発令し、草刈り・誘引物の除去を呼びかけています。

## 〈クマ遭遇時の行動と安全対策〉

遭遇時は、背中を向けずゆっくり後退し、落ち着いて行動することが重要です。攻撃時は90%が顔面を狙われるため、顔を保護するようにうつ伏せになってください。県ではフェイスガード付きヘル

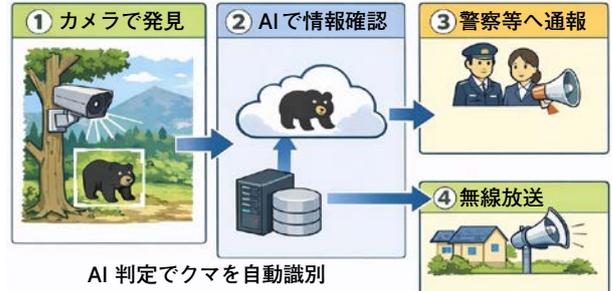


クマが攻撃してきた際の防御姿勢

メットの携行や、クマ鈴、「とやまポリス」の鈴機能活用を推奨しています。また、柿の木の爪跡や、糞などの痕跡情報をツキノワグマ出没情報サイト「クマっぷ」に掲載しています。

## 〈AI活用による新たな取り組み〉

県では、自動撮影カメラとAI判定を組み合わせ、クマ、イノシシ、サルを自動識別し自治体へ通知する「Bアラート」を運用しています。



AI判定でクマを自動識別

これは、デジタルの力を活用して、地域課題の解決に取り組む事例を公募する「Digi田甲子園」にエントリーし、内閣総理大臣賞を受賞しました。

また、富山市ではAI判定と警報を連動させる実証実験を実施しています。現場確認に要していた時間を大幅に削減し、迅速な対応と住民の安全確保に貢献しています。

## 〈終わりに〉

野生鳥獣対策は、自治体だけでなく地域全体で取り組むことが不可欠です。餌場管理・環境整備・正しい技術導入・AIの活用を組み合わせ、被害を最小化していくことが未来への責任です。

また、私たち一人ひとりにできる行動としては、ペット放棄の防止、地産地消の推進、生物への理解促進も求められています。

今後も皆様と協力し、安全な地域づくりに取り組んでまいります。(要旨)

城川原公民館 館長 成川 清孝

《地域の概要》

城川原は富山市北部、豊田校区内に位置し、国道8号線やライトレールに近い便利な地域です。世帯数は約350で、一番の特色は医療施設が多く、高齢者にも住みよい町です。元は農村地帯で、室町時代以前から人々が暮らしていた歴史があり、由緒ある寺院跡地や神社、白壁土蔵などがあります。

二度の宅地造成により人口が増加し、新旧の住民が一つの町内会としてまとまりました。

《城川原公民館》

公民館は昭和52年に竣工しました。40畳の和室のみで、現在の世帯数には手狭です。使用頻度は非常に高く、年間行事や役員会、組合の会議、神社の例祭など、多岐にわたる活動の拠点になっています。



城川原公民館

《町内会行事と公民館事業》

町内会主催の行事として、納涼祭、魚つかみ大会、運動会の懇親会、餅つき大会などを開催。また、公民館事業として、囲碁クラブ、健康マージャンの会、介護予防運動、そして長寿会の茶話会に合わせて開催する出前講座などを開き、住民同士の交流を深めながら地域福祉と健康づくりに力を入れています。



介護予防運動

《子ども達の活動》

クリスマス会、子ども神輿、夏の魚つかみ大会など、地域の将来を担う子ども達の成長と楽しさを重視しています。

また、子ども会の行事には隣町も参加し、地域連携の一助となっています。

《まとめとこれからの課題》

長年の取り組みにより、旧住民と新住民の融合が進み、活気ある町として発展してきました。一方、公民館の老朽化と狭さ、防災拠点としての機能不足、中間層の30～40代の行事参加者が少ない、といった課題があり、今後、町内会と連携し、改善に取り組む必要があります。(要旨)

市立大沢野公民館 館長 山田 学<sup>まどる</sup>

《地区の概要》

大沢野地区は、「ぶり・ノーベル街道」の愛称で知られる交通の要衝「国道41号」が南北に縦貫し、西に1級河川「神通川」と東は船峠台地に挟まれた富山市の中南部に位置する地域です。

《大沢野会館(大沢野公民館)》

大沢野会館は、大沢野行政サービスセンターを中心として、会議室や多目的ホール、調理実習室等を備える地域交流センター部分、図書館からなる複合施設として整備されました。地域交流センター部分は、大沢野公民館でもあり、共用・併用施設として利用されています。



大沢野会館全景

《公民館事業》

公民館の活動としては、地域住民の憩いの場として「にこにこサロン」を開いており、その一つが「ものもの市」で各家庭の不用品を持ち寄り、気に入ったものを無料で持ち帰ることができます。ウォーキング大会IN立山は、大自然が満喫でき、からだも動かせる一石二鳥のイベントです。地域のスポーツ推進員と協力して、カローリング大会、ペタンクなどの新しいスポーツの普及と推進に取り組んでいます。



レッツ健康活動は、大沢野保健福祉センターと協力して、市が実施する健康診断、がん検診、心と体の健康づくりに役立つ行事に参加された人にポイントを付与して抽選に応募できる事業を後援しています。

ウォーキング大会IN立山

今年度の「ふるさと講座」は、11講座12回になります。どうしてもマンネリになりがちになるため、作る楽しみ、食べる楽しみ、体験する楽しみを大切にして講座を考えています。

毎年11月には、大沢野公民館のサークル27団体が活動の成果を披露する「大沢野生涯学習フェスティバル」が開催されます。

《公民館活動の課題》

公民館活動の課題として、公民館活動資金の必要性とその確保や、公民館活動の住民負担について検討しています。

また、公民館事業・イベントをどのように住民へ周知し、参加いただくか、地域の繋がりが希薄化していくなかで、公民館として何ができるかを考えています。(要旨)

# 富山市立蜷川公民館 令和8年2月21日竣工



外 観

完成した公民館（地区センター）は、図書館分館に加え児童館と健全育成室（蜷川しろがね子ども会）の機能が一つになった複合施設です。利用者の憩いと交流の場となるよう建物の真ん中にはゴムチップ舗装の「中庭」があります。

公民館エリアは、多目的トイレが整備され、バリアフリー構造となっています。他にも和室や最高クラスの備品を揃えた調理室、大・中会議室があります。会議室につながる廊下からは中庭を眺めることができ、光あふれる心地よい空間となっています。

今後、地域の活動拠点施設として多くの利用者が訪れることが期待されます。



中 庭



大・中会議室



調 理 室

## 自治公民館整備の補助金制度・貸付金制度のご案内

富山市では、町内会等で整備する公民館（自治公民館）の建設や修繕にかかる費用に対して補助や貸付を行っております。

### 1 富山市公民館及び公民館類似施設建設補助金

補助額	補助対象事業費の1/5 新築 上限2,200千円～3,500千円 (世帯数による)
修繕等	上限500千円
その他	補助対象事業費が500千円未満であるもの及び前回補助を受けてから5年を経過しないものについては制度を利用できません。 また、別の補助金と重複して交付を受けることはできません。

### 2 富山市公民館類似施設整備資金貸付事業

貸付金額	補助対象事業費の1/2 1施設につき1,000千円～10,000千円
利 率	変動するため、お問い合わせください。 (令和7年3月時点 1.2%)
貸付期間	10年以内
そ の 他	貸付については、要件があります。 詳しくはお問い合わせください。

原則、どちらの事業も工事着手の前年度に意向調査を行い、工事予定有と回答いただいた公民館のみ対象となります。また、補助金の申請をした年度中に工事が完了することが条件となっています。

詳細については必ず事前に生涯学習課(TEL076-443-2137)又はお近くの市立公民館にお問い合わせください。



編集委員

清水 孝夫（市公連推薦）  
谷井 千秋（市立四方公民館）  
立野 明彦（市立宮川公民館）

秋村 好美（市立太田公民館）  
紺谷 道子（市立水橋中部公民館）

木村 祥子（市立広田公民館）  
酒井 和恵（市立小羽公民館）



発行者 富山市教育委員会  
富山市公民館連絡協議会

所在地 富山市新富町一丁目2番3号  
C i Cビル3階 市民交流館内

TEL 076-431-4569